

学びのつながりを意識した 総合的な学習の時間の進め方

東部教育事務所



本年度の重点

学びのつながりを意識した総合的な学習の時間における地域学習の進め方について理解する研修を通して、指導力の向上を図るとともに、初任者同士の人間関係づくりを促す。

①自分事となる単元の課題を設定しましょう。

- ・体験活動などを意図的に設定する。
- ・気づきや疑問を出し合うなどして、ゴールイメージを共有する。

②学びのつながりを意識しましょう。

- ・前学年までの学びを生かし、発展させる。
- ・学びの生かされ方を見通す。

総合的な学習の時間の進め方について



地域を教材にするメリット

- ・身近な事象で発見も多く、問題意識をもちやすい。
- ・身近にあるから、体験活動や専門家の話を聞く活動を取り入れやすい。



**総合的な学習の時間における
探究課題**として適している。

総合的な学習の時間の進め方

はばたく群馬の指導プランⅡ

第Ⅱ章 各教科等の授業づくりの基本

総合的な学習の時間

たくましく生きる力をはぐくむ

はばたく群馬の指導プランⅡ



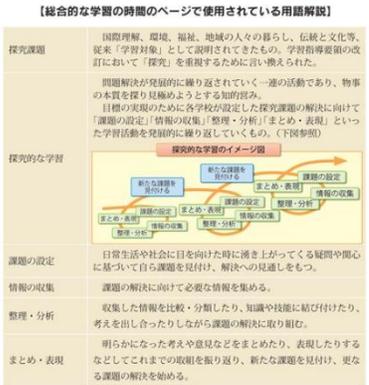
令和元年8月

群馬県教育委員会
群馬県市町村教育委員会連絡協議会
群馬県小学校長会・中学校長会

総合的な学習の時間 the Period for Integrated Studies

総合的な学習の時間は、各教科等で育った資力・能力を働かせ、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習を行う時間です。答えや解決方法が1つに定まらない探究課題に主体的・協働的に取り組むことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていく児童生徒の姿が望まれます。

そのためには、各学校の教育目標や、地域の実態を踏まえながら、児童生徒が実社会や実生活の中から見いだした疑問や関心に基づいて自ら課題を立て、その解決に向けて情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する活動を発展的に繰り返すことができる探究的な学習の充実を図ることが大切です。



総合的な学習の時間 the Period for Integrated Studies

1 単元のつくり方

総合的な学習の時間の単元は、第1の2で示す8パターン（の理想）が多くなります。「つかむ」過程では、探究課題との出会いを単元の課題を設定します。「追突する」過程では、4つの探究のプロセス（課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現）を発展的に繰り返すことで、単元の課題の解決に向けた活動を進めます。最後の「まとめる」過程では、「つかむ」過程で設定した単元の課題を振り返り、自分たちの思い等を、自分たちの思いや状況により、計画を変更することもあります。主体的な学習をするためにも、途中の変更ができるような柔軟な単元計画とすることが大切です。

過程と基本的な学習活動（子供の意識・思考）

1 探究課題と出会い、単元の課題を把握する。

①探究課題と出会う。
○外観体験活動を行う。
○専門家の話を聞く。 など

②単元の課題を把握する。
○方向きや疑問を出し合う。
○理地と実感を比べる。 など

【単元の課題】
探究課題との出会いから導き出された単元を通じて探究する内容

③追突の見通しをもつ。
○どのようなことに取り組んでいくか、解決に向けた予想や仮説を立てる。 など

2 単元の課題に基づき、個人・グループ等での課題を設定し、追突する。

①課題の設定
○追突の見通しを基に、自分が取り組む課題（個別課題）を設定する。

②【課題】
○○○の課題を調べてみよう。
○なぜ△△になるのだろう。
○△△が分かれれば解決できるかも。

○何をどのように追突するか、具体的な見通しをもつ。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善のポイント

●其の場の体験活動を設定したり、専門家を招いたりするなど、探究課題と出会う機会を豊富に今の考えとの「ずれ」や「隔たり」を「埋め」や「可能性」について感想を共有させる。

●答えが1つではなく簡単に解決できない課題になるように、複数の活動を想定した大きなスケールの単元の課題とする。
（大きなスケールの単元の課題の設定例）
・「～を人（物）に～する」
・「地域の～を世界に広げよう」

●単元の課題の達成に向けて、様々な可能性を想定させる。

●教師が活動内容や学習の流れをすべて決めず、子供たちの思いを大切に、子供と共に計画を立てる。

探究のサイクル（1回目）

①課題の設定
②情報の収集
③整理・分析
④まとめ・表現

追突する①過程

まとめる過程

●取り組んでいく課題や解決方法を整理する際には、考えるための技法を活用させる。 P162を参照

●課題を解決した際「ゴールメープ」を出し合い、見直しをもたせる。

追突する①

③情報の収集
○設定した課題の解決に向けた見通しを基に必要な情報を収集する。
・インタビューした内容を整理して読む。
・インターネットで最新情報を集めよう。
・必要な情報を○を付けてまとめよう。

④整理・分析
○収集した情報を整理や分析する。
・自分は○だけど、友達はどうだろう。
・△△の原因は△△だからか。
・○○●●はなぜこうなっているんだ。

⑤まとめ・表現
○設定した課題に対する取組をまとめたり、実践したりし、新たな課題につなげる。
・分かったことを○に書いてみよう。
・△△だから○△△した方がいい。
・もっと●●してみたい。

●他者からの多様な情報収集ができるように、観察、実験、見学、調査、道徳体験などを必要に応じて取り入れる。

●比較・分類による整理やそれぞれの関連付けによる分析など、情報を活用して思考できる活動を適切に取り入れる。

●収集した情報を可視化・操作化するための「考えるための技法」を重点的に取り入れる。 P162を参照

●相手を意識するとともに、目的を明確にして、まとめや表現、実践方法を考えさせる。

●設定した課題に対する実践状況を振り返らせることで、新たな課題につなげられるようにする。

追突する②

③新たな課題を見だし、継続して追突する。

①課題の設定
分かったことを基に、○してみたい、△△の課題の解決の手段ややり方について自分なりに見通しをもつと調べよう。
②整理・分析
口頭だけでなく、より効果的な方法は、どうすればいいか、△△と△△の関係、自分たちの活動をもっと広げたい。

探究のサイクル（2回目以降）

①課題の設定
②情報の収集
③整理・分析
④まとめ・表現

追突する②過程

まとめる過程

●1回目の探究のサイクルより発展的な課題となるように、活動の広がりを意識して新たな課題を見いだす。

●(例) 自分→学校→地域（空間的広がり）
過去→現在→未来（時間的広がり）

●2回目以降は、1回目の学びを評価する課題になることが多い。（ポスター、チラシ、イベント参加等）

●蓄積しておいた学習記録や他者評価等で自分の成長を振り返り進捗を確認する。

●達成感や自信をもたせ、自分よさや可能性を付け、自らの生活や行動について見直す機会とする。

総合的な学習の時間の進め方

総合的な学習の時間で

児童生徒も教師も楽しく探究!

リーフレット

総合的な学習の時間で



児童生徒も 教師も 楽しく探究!

総合的な学習の時間の充実に向けた3つの視点

- ① 探究意欲が高まる課題の設定
- ② 楽しく探究できる学習過程の工夫
- ③ 探究をつないでいく授業の展開

実践例が少なく・・・
毎年同じ内容でマンネリ化
教科書がないから・・・

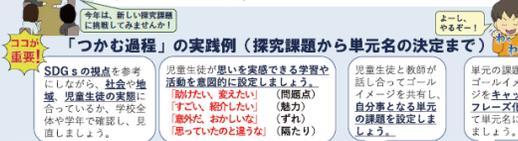
ICT活用で広がる学び!
STEAM教育の要素で教科横断!
これからの社会に必要な力を!



総合的な学習の時間は、目まぐるしく変化する社会の中で、児童生徒がたくましく生きていくために必要な力を身に付ける上で、その重要性がますます高まっています。
これまでの各学校での実践を生かしながら、児童生徒も教師もより楽しく探究できる時間として充実させ、深まりのある学習を展開しましょう。

① 探究意欲が高まる課題の設定

探究的な学習をより充実させていくためには、単元の課題が児童生徒にとって自分事となっていることが重要です。「つかむ過程」において、単元との出会いの活動を工夫し、児童生徒の探究意欲(ワクワク感)を高めていくことが大切です。以下の実践例を参考にしながら単元をスタートさせましょう。



探究課題	出会いの学習・活動→「思い」	単元の課題(ゴールイメージ)	単元名
ものづくり	地域の伝統工芸品を作ってみよう 「自分たちなりにアレンジしたい」 「いい物を作って喜ばせたい」	〇〇展覧会を開いて多くの人に覚えてもらう 〇〇さんの店に置いてもらう 作った〇〇を〇〇に買ってもらう	作ろう! 私たちだけの〇〇
地域防災	災害の種類と件数、被害額を調べよう 「なんとなかまや」(人となじむ)	〇〇災害のための防災マップを作ってみよう 避難所開設の訓練をしよう	地域防災リーダーになろう
食文化	群馬の有名な食料や料理を調べよう 「オリジナル〇〇を作ってみよう」	オリジナルメニューを地域の食卓に提案しよう できる限り多くの人に知らせよう	広げよう! ぐんまのうんまい〇〇
環境	林野学校等で群馬の自然の豊かさを体験しよう 「この自然を守りたい」	森林や動物を守るための看板やポスターを作ろう 群馬の自然を守る活動を作ろう	守り育てよう! 群馬の自然
キャリア	職業体験等から地域の課題を把握しよう 「大丈夫?」「もっと発展させよう」	地域が発展するためのイベント等を企画・立案し 市役所等に提案しよう	〇〇市役所 中学生の未来課
福祉	地域の高齢者とふれあおう 「元気であってほしい」「笑顔にしたい」	地域のお年寄りが笑顔になることをしよう 例: 漢字・コント・落語・音楽・劇	元気・笑顔広げプロジェクト
情報	プログラミング体験をしよう 「この技術で役立つことをしたい」	地域の魅力を発信するアプリを作成しよう	アプリで活しよう! 〇〇町

「とりあえず昨年同様・・・」で単元を始めるのではなく、授業の入替えなどをしながら4月は学年で共通理解を図るための準備期間として、GW明けくらいから単元を始めるという工夫も考えられます。

【STEAM教育】の要素でさらに深まる探究的な学習

Science (科学) Technology (技術) Engineering (工学)
Art (芸術) リベラルアーツ Mathematics (数学)

STEAM教育とは、上の5つの要素等を活用して、社会の変化に対応しながら単元の課題を解決し、自ら考えていく力を鍛えたいという学習活動です。総合的な学習の時間における課題の発見や解決に向けた取組をより充実させるためには、STEAM教育の要素を取り入れることが有効です。
※「リベラルアーツ」は人文科学等の幅広い教養を指します

【探究的な学習の中で見られるSTEAM教育の要素の例】

データ収集・分析・・・【S】【M】 デジタル技術の活用・・・【T】 実験・調査・・・【S】
ものづくり・・・【T】【E】【A】 プレゼン・発信・・・【T】【A】 キャリア形成・・・【A】

② 楽しく探究できる学習過程の工夫

これからの社会に必要な力を身に付けるためには、INPUT重視(調べ学習)の学習過程を見直す必要があります。多くの学校で実践されている「調べ学習」を「思いを形にする型」に変えることでOUTPUT重視となり、より楽しく探究できる学習過程になります。



実践例「広がれ!ぐんまのうんまい〇〇」(小学校高学年~中学校)(全70時間)

【探究の目的】 群馬の食文化を伝えるための活動を通して、食の魅力を改めて知る人々の工夫に気付く。群馬の食文化の歴史や未来について考えるとともに、地域食材に愛着を持って生活することができるようになる。

児童生徒の意識の流れ【STEAM教育(Science Technology Engineering Art Mathematics)の要素】

【探究の開始】 群馬にはおいしい食べ物がいっぱいあるのを知りたかった。群馬の食文化の魅力を多くの人に知らせたい。地域の歴史や文化に立寄り、地元産品を味わう。地元産品を味わう。地元産品を味わう。

【情報の収集】 群馬の食文化について調べよう。群馬の食文化について調べよう。群馬の食文化について調べよう。

【情報の整理】 調べたことを整理して、もっと良いレビッドを作ろう。調べたことを整理して、もっと良いレビッドを作ろう。調べたことを整理して、もっと良いレビッドを作ろう。

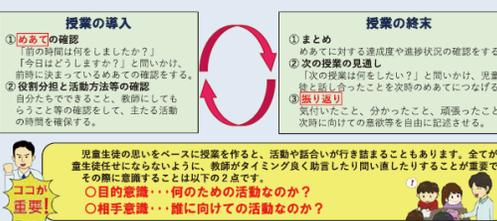
【情報の発信】 調べたことを発信しよう。調べたことを発信しよう。調べたことを発信しよう。

【まとめ・表現】 調べたことをまとめよう。調べたことをまとめよう。調べたことをまとめよう。

探究の4つのプロセス(①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現)が発展的に繰り返されるように意識することが大切です。

③ 探究をつないでいく授業の展開

単元時間の授業の中では、**めあてで振り返り**が重要です。総合的な学習の時間を教師と児童生徒で作り上げていくためにも、導入や終末で児童生徒の思いをしながら、授業をつないでいくことが大切です。



児童生徒も教師も楽しく探究するためのチェックリスト

- 探究課題がふさわしいかどうか、職員全体で確認し、全体計画を見直しているか
- 単元の課題が、実社会や地域の課題を解決するものであるか、また、自分事で作らなければならないか
- 単元のゴールイメージが明確になっていて、目的意識と相手意識があるか
- 探究のプロセス(①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現)が発展的に繰り返される学習過程になっているか
- INPUTよりOUTPUTを重視した活動になっているか
- 各教科等の学習内容やSTEAM教育の要素と関連付けることで探究が深められているか
- 児童生徒にとっても教師にとっても、学ぶ喜びや楽しさを感じられる学習になっているか

群馬県教育委員会
国立教育政策研究所
発行の参考資料

ほめて!群馬の食文化を伝えるための活動を通して、食の魅力を改めて知る人々の工夫に気付く。群馬の食文化の歴史や未来について考えるとともに、地域食材に愛着を持って生活することができるようになる。

探究の4つのプロセス(①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現)が発展的に繰り返されるように意識することが大切です。

探究的な学習を充実させるために

① 探究意欲が高まる課題の設定

探究的な学習をより充実させていくためには、単元の課題が児童生徒にとって自分事と
なっていることが最も重要です。「つかむ過程」において、単元との出会いの活動を工夫し、
児童生徒の探究意欲（ワクワク感）を高めていくことが大切です。以下の実践例を参考にし
て単元をスタートさせましょう。



自分事となる単元の課題の設定

探究課題	出会いの学習・活動 → 「思い」	単元の課題（ゴールイメージ）	単元名
ものづくり 町づくり	地域の伝統工芸品を作ってみる → 「自分たちなりにアレンジしたい」 「いい物を作って町をアピールしたい」	〇〇展覧会を開いて多くの人に見てもらおう 〇〇さんの店に置いてもらおう 作った〇〇を〇〇に置いて使ってもらおう 等	作ろう！私たちだけの〇〇

児童生徒が思いを実感できる
学習や活動を**意図的に**設定

体験活動

専門家の話を
聞く活動



助けたい、変えたい（問題点）

すごい、紹介したい（魅力）



意外だ、おかしいな（ずれ）

思っていたのと違うな（隔たり）

自分事となる単元の課題の設定

探究課題	出会いの学習・活動 → 「思い」	単元の課題（ゴールイメージ）	単元名
ものづくり 町づくり	地域の伝統工芸品を作ってみる → 「自分たちなりにアレンジしたい」 「いい物を作って町をアピールしたい」	〇〇展覧会を開いて多くの人に見てもらおう 〇〇さんの店に置いてもらおう 作った〇〇を〇〇に置いて使ってもらおう 等	作ろう！私たち だけの〇〇



いい物を作ってアピールしたい。



何であまり知られていないのかな？



目にする機会が少ないね。



展覧会を開けば、見てもらえるかも。

児童生徒と教師が話し合い、
ゴールイメージを共有



〇〇展覧会を開いて
多くの人に見てもらおう

目的意識

相手意識

まとめ①



自分事となる単元の課題を設定しましょう。



体験活動などを意図的に設定する。



気づきや疑問を出し合うなどして、
ゴールイメージを共有する。

◎その後の学習過程や授業展開については、資料を参照してください。

【参考資料】

各教科等授業改善プロジェクト 【総合的な学習の時間】

◎各教科等の「学習指導案」「授業記録」「授業改善研修会資料」につながります。
授業改善研修会資料では、学校教育の指針に示された授業改善のポイントを具現化するための具体を説明しています。

各教科等授業改善プロジェクト【総合的な学習の時間】

○令和7年度

○令和6年度

○令和5年度

藤岡市立美土里小学校	藤岡市立西中学校
6年「藤岡の魅力 伝え隊」	1年「藤岡市の風土を生かした特産物 私の藤岡『推し食材』PR大作戦！」
学習指導案	学習指導案
授業記録	授業記録

授業改善研修会資料

まどめ

○探究課題と出会う場面で、体験活動や専門家の話を聞く機会など、自分事として課題を捉えられるような活動を設定する
○子どもの思いや願いをつなぐ学習過程や授業展開を工夫する
○全教職員が協力して全体計画及び各学年の年間指導計画、単元計画などを作成し、互いの専門性や特性を發揮し合って実践していく校内推進体制を整える

※学校教育の指針に示された授業改善のポイントを具現化するための具体を説明しています

本日の内容

- 1 令和5年度学校教育の指針「総合的な学習の時間で学びを深める授業改善のポイント」について
- 2 なぜこの授業改善のポイントなのか
- 3 授業改善のポイントを具現化するために

- 探究課題と出会う場面で、体験活動や専門家の話を聞く機会など、自分事として課題を捉えられるような活動を設定する
- 子どもの思いや願いをつなぐ学習過程や授業展開を工夫する
- 全教職員が協力して全体計画及び各学年の年間指導計画、単元計画などを作成し、互いの専門性や特性を發揮し合って実践していく校内推進体制を整える

学びのつながりについて



学びのつながりの意識

- ・総合的な学習の時間では、小学校と中学校で同じ地域を学習します。



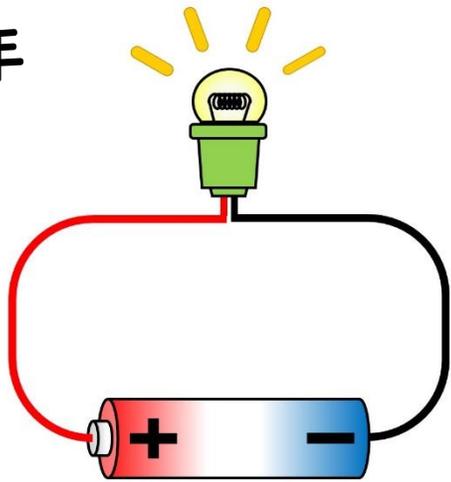
〇〇展覧会を開いて
多くの人に見てもらおう

単元の課題は、同じでよいですか？

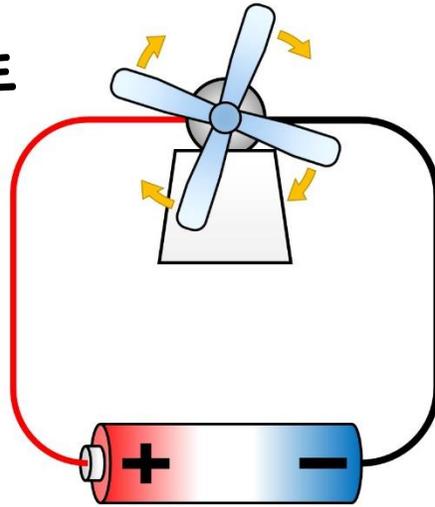
学びのつながりの意識

・理科を例にすると…

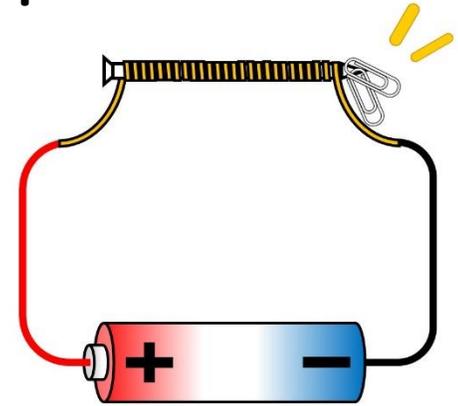
3年



4年



5年



▲回路ができると電気が通り、動作する。

→前学年までの学びを生かし、**学年に応じて発展**させる。

まとめ②



学びのつながりを意識しましょう。



前学年までの学びを生かし、発展させる。



学びの生かされ方を見通す。

◎学びのつながりを意識できるように、異校種間での交流も大切に!